事業所名 ウィズ発達支援センター 放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日 令和7年

2月

日

	法人(事業所)理念	「ともにいきる」 ・地域の中で「はたらく」ことを通じて、その人なりの生活を営み、ともにいきる社会を目指していくために、幼児期から成人期まで、ライフステージを通して切れ目のない支援を提供していき ます。
支援方針		・将来の「はたらく」を目指して、社会体験や、自立した生活を送れるための機会を提供し、自分で選択、実現できる力を伸ばせるような活動を実施していきます。また、集団での生活や遊びの なかで、人と人との関わりを大切にしながら、自分の思いを整理して伝えたり、相手を思いやることができる力を育めるような支援をしていきます。
	営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで 送迎実施の有無 あり なし
		支援内容
	健康・生活	・手洗い、うがいの励行と必要に応じ検温や様子観察を実施し、健康状態の把握に努めます。 ・食事や排泄、睡眠等、基本的生活習慣が身に付けられるよう、場面に応じて個々の能力ややADLに基づき支援していきます。 ・宿題や公園活動、おやつ(購入活動)、自主活動等を通して生活リズム、マネジメント力の向上を図ります。
	運動・感覚	・公園遊び、戸外活動、散歩や体育館活動等の活動を通して運動能力、筋力の向上を図ります。 ・感覚の特性に配慮し、環境調整を行い、居心地の良い場所を提供します。 ・創作・制作・工作活動を通じて感覚の活用、向上を図ります。
本人支援	認知・行動	・名札や活動日程(スケジュール)を掲示し概念の習得を図ります。 ・声掛けやタイマーを用いて、活動の切り替えを視覚と聴覚にて促しを行います。 ・色や形、物や道具の使い分けや使い方を通して、認知・行動の向上を図ります。
3/2	言語コミュニケーション	・区切りでの挨拶や、日常の会話の中で視覚カードを用いたり模倣を行う事で、語彙の習得や発語、発声の増加、コミュニケーションの円滑化を図ります。 ・相手とのやりとりの中で必要に応じて場面毎に考える時間を設け、自分の気持ちの整理、自分の思いを伝える、相手の思いを理解する力を伸ばしていきます。
	人間関係 社会性	・人との関わりや集団活動を通して、自己理解、他者理解の習得を目指します。 ・信頼関係のある関わりを通して安心で安定した人間関係を形成できるよう支援を行います。 ・ルールのある活動、地域での活動参加や公共交通機関を利用した活動、就労体験、社会見学等を通じてルールやマナーの理解、習得を目指します。
	家族支援	・子どもに関する情報提供と定期的な支援調整。 ・家庭での親子関係、兄弟関係や生活上での課題の聞き取りや助言。 ・関係機関との連携と支援体制の構築。 ・相談支援専門員と連携し、個別支援計画の作成や課題、可能性の共有。 ・必要に応じて面談の実施。 ・おそうと連携し、個別支援計画の作成や課題、可能性の共有。 ・必要に応じて面談の実施。 ・・移行支援 ・・移行大と連携し支援方針の共有と状態や保護者の意向の伝達。 ・・進路や移行先選択に関する相談援助。 ・・移行後の支援内容についての共有、助言。 ・・同年代の子どもと関わる機会の提供。
	地域支援・地域連携	・学校との懇談や参観。他教育機関、医療機関、児童相談所、他事業所等との連携。 ・個別のケース検討の為の会議への出席。 ・自立支援協議会、長野市南部事業所懇談会への参加。 ・贈立支援協議会、長野市南部事業所懇談会への参加。 ・選員の質の向上 ・事故報告やヒヤリハットを共有し、再発防止に努める。 ・必要に応じて外部研修への参加。 ・定期的にミーティングを開催し、活動の計画や見直し、情報共有、個別のケース検討の実施。
・就労体験(袋語 主な行事等・・ウィズふぁ~		・クラブサンズ(フルーツ狩り、公共交通機関を利用した外出、スポーツ体験、料理体験等) ・就労体験(袋詰め作業、分別作業、洗車、清掃、収穫体験等) ・ウィズふぁ~むでの農園体験(土作り、種まき、水やり、剪定、収穫等)。 ・初詣、豆まき、ひな祭り、卒業・進級、端午の節句、海水浴、夏祭り、収穫祭、クリスマス等。